

学校だより 2月号

TEL 048 (548) 1004

FAX 048 (547) 1467

平成31年2月1日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

URL <http://koya-e.konosu.ed.jp>
e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp
毎月19日は「食育の日」です。



【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成



自分にだけは嘘をつけない ～将来の「自立」のために「自律」する心を育てる～

校長 池澤 道弘

早いもので平成31年が始まって1か月が経ち、今日から2月になりました。2月と聞いてすぐ思い浮かべるのは「節分」です。本来節分とは季節の節目である「立春、立夏、立秋、立冬の前日」を差しますが、旧暦では春から新しい年が始まったため、大晦日に相当する大事な日である立春の前日の節分（2月3日頃）が重要視され、節分といえはこの日を差すようになったそうです。昔は季節の分かれ目、特に年の分かれ目には邪気が入りやすいと考えられており、形の見えない災害、病、飢饉など人間の想像力を越えた恐ろしい出来事は、邪気や厄の象徴とされていた鬼の仕業と考えられてきました。そこで、節分の日に五穀の中でも穀霊が宿るといわれる大豆で鬼を追い払う豆まきが定着してきたのだそうです。

「鬼」を連想するものに、秋田県の男鹿半島の「なまはげ」があります。「なまはげ」は本来、怠惰や不和などの悪事を諫める来訪神が、大晦日に災いを祓いにやってくる伝統的な民俗行事ですが、地元以外では幼児に対する教育の手段として理解されている場合が多いのではないのでしょうか。もちろん鴻巣には「なまはげ」の風習はありませんが、振り返ってみると、幼少の頃、悪いことをすると祖父母や両親に「そんなことをすると罰があたるよ」とよく言われました。そのたびに、目に見えない「罰」というものを恐れていたような記憶があります。「他人に対してはごまかしたり嘘をついたりすることができるけれど、自分自身には嘘をつくことはできない」そんな教えだったのかもしれない。

教育の目的は、子どもが「自立」できるようにすること、つまり社会の中で役割を果たしながら、自らの力で幸福な人生を歩むことができるようにすることですが、その根幹は「自律」即ち、自分をコントロールする力ではないのでしょうか。長い人生には山あり谷あり、いろいろなことがあります。上手いいかないことや苦しい状況にあっても自らを律し、正しい道を歩んでいく力があれば、きっと未来を切り開くことができると思います。今後とも、自分に負けない強い心をもった小谷っ子の育成にご協力をお願いいたします。



学校評価アンケート結果について

昨年12月にご依頼した学校評価アンケートでは、ご多用の中、多数の皆様にご協力いただき、ありがとうございました。ご回答いただいた結果につきましては、別紙のとおりでございます。「体験学習」「教育相談」「思考力・表現力の向上」「花に囲まれた環境」「学校公開の工夫」等、高い評価をいただいた項目につきましては、今後も継続して実施してまいりたいと思います。一方で、「学力の向上」「互いの尊重」「分かりやすい授業づくり」等は、課題が残りました。どのような対策が必要か検討し、改善を図ってまいります。

学校いじめ防止基本方針について

9月号でもお知らせしましたが、今年度いじめ防止基本方針の改定を行いました。年度途中の改定だったため、詳しくは4月の授業参観後に全体会でご説明いたしますが、ホームページにアップしてありますので、一度ご覧ください。なお、いじめの認知件数につきましては、平成29年度は0件、平成30年度は1月末現在1件となっています。